

(倫理様式 2-2-2)

## リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査 研究に関する研究

### 1. 研究の対象

2019年9月のご利用者のうち、低栄養のリスクおよび摂食嚥下障害のリスクのいずれかに該当する方の中から、当該研究内容を研究担当職員よりご本人またはご家族に個別に後説明させて頂き、ご協力の同意を得たご利用者。

### 2. 研究目的・方法

目的：当該研究は、通所事業所利用者のサービス計画と強固な連携体制のもと、居宅訪問や経口維持のための活動を含めた6ヵ月間の介入「総合的栄養ケア・マネジメント」を試行し、その効果(日常生活動作や意欲の変化など)を検証することを通じて、通所事業所における新たな栄養改善モデルの構築に資することを目的とする。

方法：多施設共同介入研究

期間：令和1年9月～令和2年3月

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：当財団のカルテ情報(身長、体重、血清Alb、食形態など)

### 4. 外部への試料・情報の提供

研究対象者の情報は事業所の研究担当者(職員)によりID番号が交付された調査表に記載され、研究代表者まで回収されます。お名前等の個人情報を回収することはありません。研究対象者以外の方のスクリーニング票は回収されず、事業所にて粉砕処分いたします。研究代表者が回収した調査表については分析が終了する令和3年3月まで保管後に粉砕処分いたします。集計においても全国研究協力事業所から300名程度の集団として分析するため、事業所や個人は特定されません。なお、研究成果は報告書、学会ホームページ、関連学会等で公表されますが、皆様の個人情報は守られることを保証致します。

### 5. 研究組織

令和元年度老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進等事業分)

リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究事業

杉山みち子 神奈川県立保健福祉大学栄養学科教授(大学院兼任)(当該事業委員長)

(倫理様式 2-2-2)

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

介護老人保健施設アルボース

群馬県伊勢崎市太田町 427-3

電話：0270-21-2700

研究責任者：介護老人保健施設 アルボース 栄養科 遠坂 夕記

研究代表者：

令和元年度老人保健事業推進等補助金（老人保健健康増進等事業分）

リハビリテーションを行う通所事業所における栄養管理のあり方に関する調査研究事業